


平成31年度 事業概要

豊川



 **豊川** 改修工事着手から80年
安心・安全な豊川を次世代へ…

国土交通省 中部地方整備局
豊橋河川事務所
平成31年4月

豊川の概要

豊川は、その源を愛知県北設楽郡設楽町の段戸山に発し、山間渓谷を流れて当貝津川、巴川等の支川を合わせて南下し、愛知県新城市長篠地先で宇連川と合流し、その後、豊橋平野で宇利川、間川等の支川を集めた後、三河湾に注ぐ幹川流路延長77km、流域面積724km²の一級河川です。

源	流	段戸山(1,152m)
流域面積		724km ²
幹川流路延長		77km
流域内人口		約22万人(下流部に67%が集中)
年間降水量		1,800~2,400mm
整備計画目標流量		石田 4,650m ³ /s
河道整備流量		石田 4,100m ³ /s
既往著名洪水流量	戦後最大	昭和44年8月洪水(台風7号)
		石田 4,600m ³ /s
	平成最大	平成23年9月洪水(台風15号)
		石田 4,000m ³ /s



平成31年度の事業方針

1. 洪水被害を防止・軽減する治水対策 【水防災、改修、緊急対策】

平成31年度は、4霞地区における築堤のための用地取得等及び牛川地区における浸透対策等を継続して実施します。また、近年の災害を受けて実施した重要インフラの緊急点検結果を踏まえた防災・減災、国土強靱化のための3ヶ年緊急対策を重点的に実施します。

- (1) 豊川水防災サミット、水防災の取組み
- (2) 霞堤地区の浸水被害の軽減へ向けた取組み
- (3) 洪水氾濫を未然に防ぐ対策及び重要インフラの緊急対策

2. 良好な河川環境の保全と創出 【環境】

豊川流域が有する多様な生態系、良好な河川環境を保全し、豊かな自然のある豊川を目指した整備を進めます。

- (1) 豊川自然再生事業

3. 着実な維持管理 【維持管理】

災害時に備えて平素から巡視や点検等を行うとともに、地域住民の憩いと安らぎの場として快適な豊川となるよう、維持管理計画に基づき計画的な維持管理を行います。

- (1) 治水機能の維持や安心して快適な河川の利用を支える日常的な維持管理
- (2) 老朽化した河川管理施設の補修
- (3) 流水の正常な機能維持と増進
- (4) 地域と協働した効率的な河川管理の推進

4. 災害・事故に対する危機管理体制の強化 【防災・減災、地域支援】

大規模出水や地震等が発生した際に被害を最小限とするとともに、早期復旧を実現するためにソフト・ハード両面から対策を講じます。

- (1) 災害・事故に対する危機管理体制の強化
- (2) 被災している地域への支援

5. 地域住民との交流及び地域との連携・協力 【地域交流・地域連携】

地域のニーズを把握し、活力ある地域づくりを進めるため、地域と国、住民と行政とのコミュニケーションを深めていきます。

また、地域社会の持続的発展に向けた取組を推進していきます。

平成31年度 豊川事業費の概要

単位：千円

項目	H30			H31	備考
	H30 (当初)	H30 (補正等)	計	H31 (当初)	
河川整備事業費	1,525,017	258,000	1,783,017	1,597,623	
河川改修費	276,000	77,000	353,000	696,000	
河川維持 修繕費	583,500	181,000	764,500	704,200	
堰堤維持費	150,567	—	150,567	87,423	
河川工作物関連 応急対策 事業費	515,000	—	515,000	110,000	
都市水環境整備事業費	27,400	—	27,400	38,000	
総合水系環境整備 事業費	27,400	—	27,400	38,000	
総合流域防災事業費	—	8,000	8,000	—	
総合流域防災対策 事業費	—	8,000	8,000	—	
受託工事費	110,000	—	110,000	250,000	
受託工事費	110,000	—	110,000	250,000	
災害復旧事業費	44,993	—	44,993	—	
河川等災害 復旧費 (29災)	44,993	—	44,993	—	
合計	1,707,410	266,000	1,973,410	1,885,623	

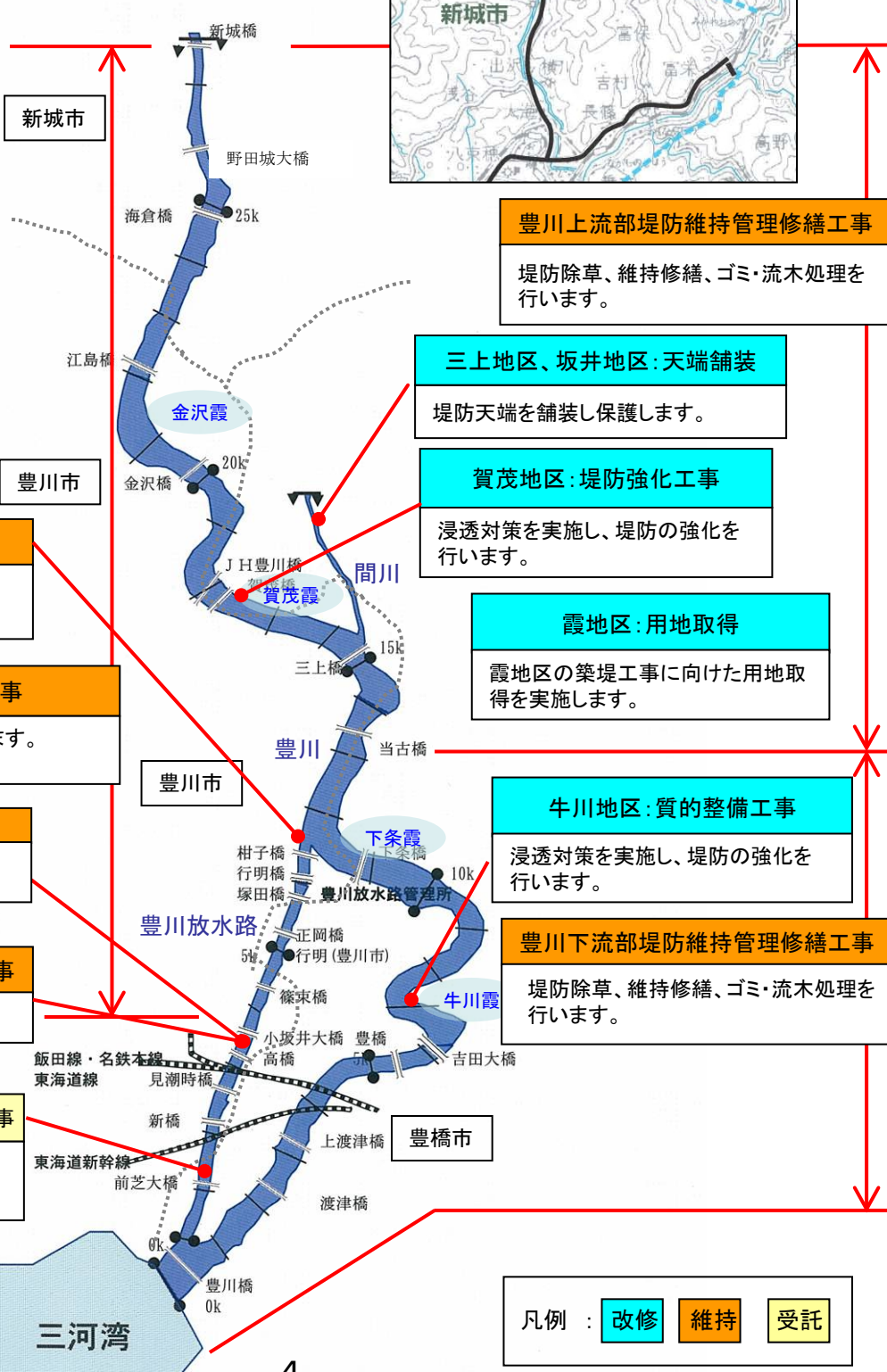
※河川整備事業費及び都市水環境整備事業費は業務勘定を除く。

※H31 受託工事費は見込み額を記載。

※H30 (補正等)・・・防災、減災、国土強靱化のための3ヵ年緊急対策のうち初年度の対策を行う予算を含む

※H31 (当初)・・・防災、減災、国土強靱化のための3ヵ年緊急対策のうち2年目の対策を行うための予算を含む(臨時特別枠)

工事実施箇所位置図



豊川上流部堤防維持管理修繕工事
 堤防除草、維持修繕、ゴミ・流木処理を行います。

三上地区、坂井地区:天端舗装
 堤防天端を舗装し保護します。

賀茂地区:堤防強化工事
 浸透対策を実施し、堤防の強化を行います。

霞地区:用地取得
 霞地区の築堤工事に向けた用地取得を実施します。

牛川地区:質的整備工事
 浸透対策を実施し、堤防の強化を行います。

豊川下流部堤防維持管理修繕工事
 堤防除草、維持修繕、ゴミ・流木処理を行います。

うしかわかすみ げじょうかすみ かもかすみ かなざわかすみ
牛川霞・下条霞・賀茂霞・金沢霞:霞対策検討

各霞の開口部対策と支川対策の検討を進めます。

古川排水機場発電設備工事
 予備発電設備の更新を行います。

豊川樹木伐採工事
 河道内の樹木伐採を行います。
 (H30補正,H31)

小坂井樋門機械修繕工事
 樋門の機械設備の修繕を行います。

小坂井排水機場除塵整備修繕工事
 除塵機の更新を行います。

清須地区:豊川放水路清須樋管改築工事
 湛水防除事業として、既設排水樋管の改築を行います。

凡例: 改修 維持 受託

1. 洪水被害を防止・軽減する治水対策【水防災、改修、緊急対策】

(1) 豊川水防災サミット、水防災の取組み

「施設の能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へと意識を変革し、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」の再構築のために、豊川では豊川水防災サミットを設置するとともに、『「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく豊川の減災に係る取組方針』を策定し、ハード・ソフト対策を国・県・市町が一体的・計画的に推進しています。

「逃げ遅れゼロ」に向けたソフト対策の取組としては、豊川の歴史、自然、防災知識の普及、危機管理型水位計の運用、事前の防災行動計画（タイムライン）の策定運用を推進し、「社会経済被害の最小化」を目指したハード対策の取組としては、洪水氾濫を未然に防ぐための堤防の強化、水防活動の強化、河川防災ステーション及び防災拠点の検討等を行います。

危機管理型水位計の運用

洪水時のみの水位観測に特化した水位計（危機管理型水位計）を設置・運用し、避難勧告等の発令や避難に役立つ水位情報を提供します。

歴史、自然、防災知識の普及に関する取組

学校と連携して防災教育に関する支援を実施するため、指導計画の作成支援を進めます。



危機管理型水位計イメージ



防災教育ツール（教材イメージ）

(2) 霞堤地区の浸水被害の軽減へ向けた取組み

◇事業の目的

牛川霞堤地区・下条霞堤地区・賀茂霞堤地区・金沢霞堤地区の浸水被害の軽減を図ることを目的に、ハード・ソフト対策について検討します。関係機関や地元と調整し、対策を進めます。

◇平成31年度の実施内容

平成28年度に策定した「豊川霞堤地区浸水被害軽減対策計画」に基づき、ソフト対策については、簡易水位計や浸水周知の回転灯の設置運用等、またハード対策については、小堤の設計を実施するとともに用地買収を進めます。



霞堤地区を含む豊川遠景



簡易水位計・回転灯 イメージ

牛川霞堤地区 防災情報ポータル

雨量の分布、川の水位、ライブカメラ画像をまとめて見る

4つの画面で、雨量、川の水位、ライブカメラ画像を同時に見ることができます。

- 雨量の分布、川の水位、ライブカメラ画像を同時に見る

過去の洪水の様子を知る

過去の洪水時に浸水したおおよその範囲を確認できます。

- 近年の洪水の最大浸水範囲 (H15洪水・H16洪水・H23洪水)
- 浸水シミュレーションによる主な洪水規模の浸水範囲 (堤防決壊しない場合)を確認できます。
- S44洪水規模による浸水範囲の時間変化
- H23洪水規模による浸水範囲の時間変化

牛川霞堤地区周辺の川の水位を見る

現在の川の水位と現在までの水位の時間変化を見ることができます。

- 当古
- 牛川霞堤地区周辺の他の地点も見たい

様々な雨の時の洪水の様子を知る

洪水時に豊川・豊川放水路が氾濫した場合のシミュレーションによる洪水浸水想定区域※を確認できます。

- 150年に1度の規模の降雨による洪水浸水想定区域
- 想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域

※洪水浸水想定区域は、堤防決壊する場合の複数のシミュレーション結果を重ね合わせて作成したものです。

カメラで川の様子を見る

現在の川の画像が10分おきに更新されます。

- 霞堤地区内の様子
- 霞堤地区開口部の様子
- 霞堤地区近くの豊川の様子
- 牛川霞堤地区周辺の他の地点も見たい

霞堤地区の防災情報ポータルサイト

(3) 洪水氾濫を未然に防ぐ対策及び重要インフラの緊急対策

◇事業の目的

豊川水防災サミットにて推進する、『「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく豊川の減災に係る取組方針』に係るハード対策として、「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」を実施し、早期の治水安全度の向上を図ります。また、平成30年7月豪雨等近年の災害を受け実施した重要インフラの緊急点検結果を踏まえ、防災・減災、国土強靱化のため3ヶ年で集中的にハード対策を実施します。

◇平成31年度の実施内容 ※1 ネーミング化

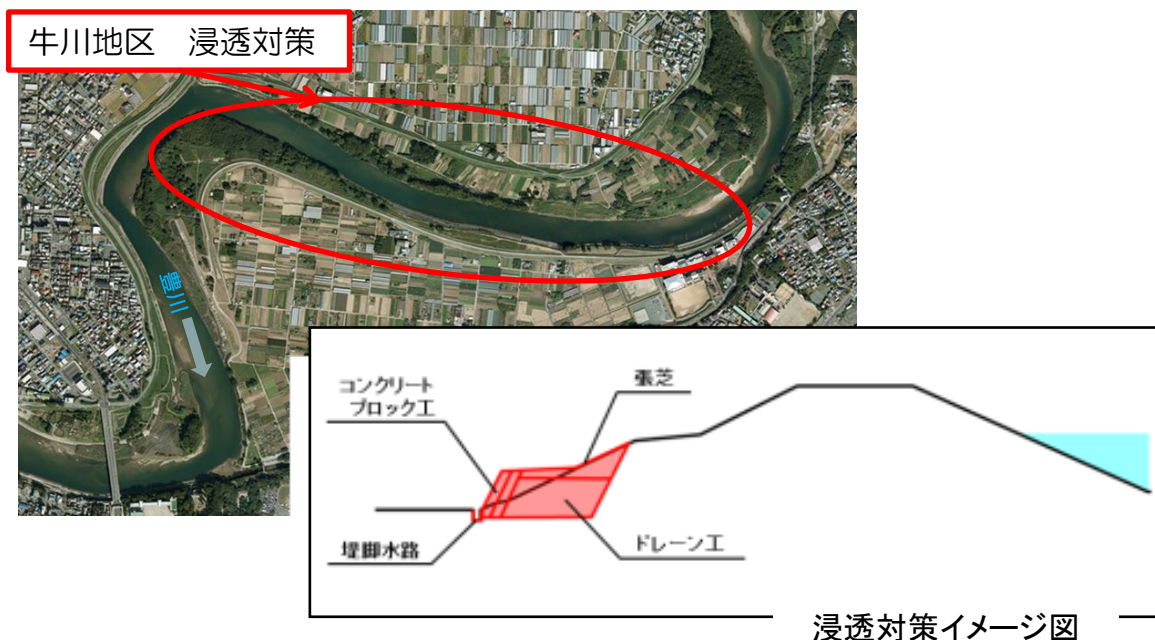
- 1) 豊川牛川霞浸水被害対策事業（浸透対策）
- 2) 間川堤防雨水浸透防止事業（天端舗装）
- 3) 豊川賀茂霞浸水被害対策事業（浸透対策）
- 4) 豊川樹木伐採（下流部、中流部、上流部）※2

※1 一般改修における箇所毎の事業に対してアイデンティティを確立するためネーミング化を実施。

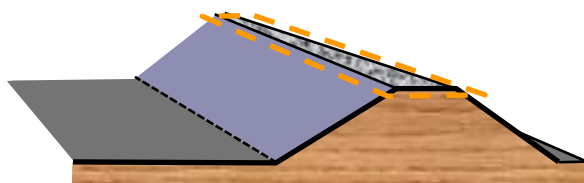
※2 維持作業のためネーミング化の対象外

◇平成31年度の実施箇所

- 1) 豊橋市牛川地区において堤防の裏法滑り対策として浸透対策（ドレーン工）を引き続き実施します。

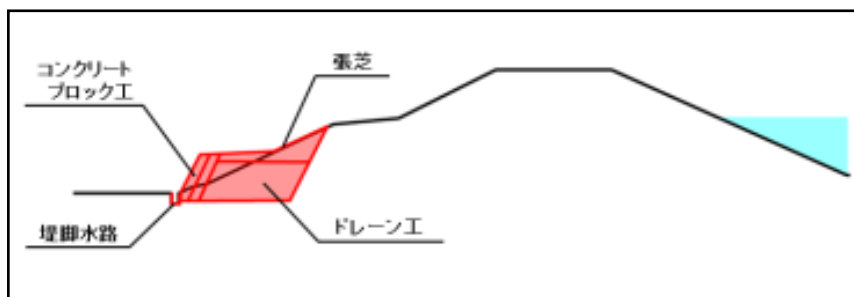


2) 豊川市三上地区、豊橋市坂井地区において堤防天端をアスファルト等で舗装し、保護します。



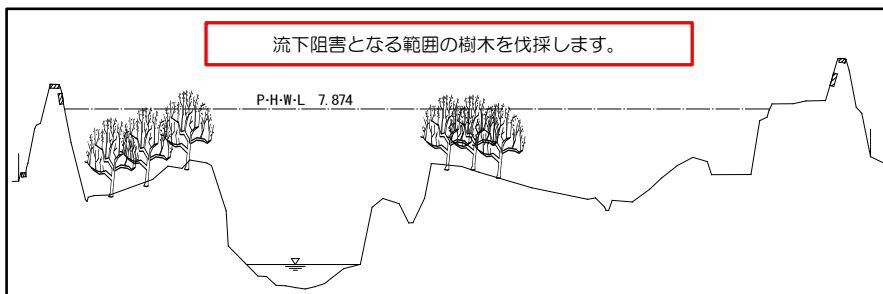
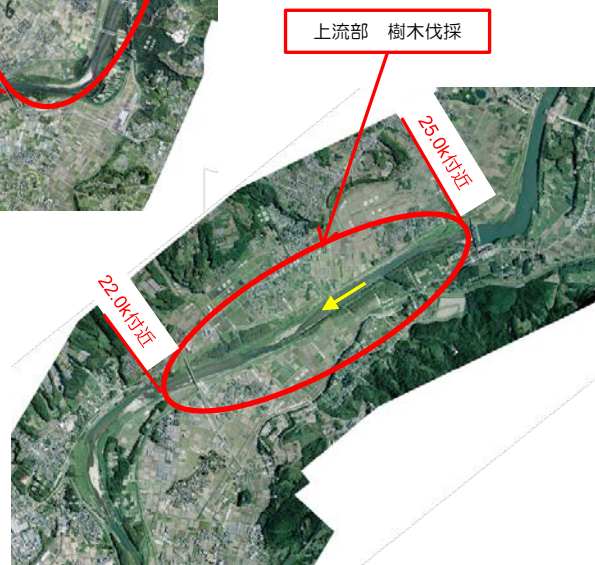
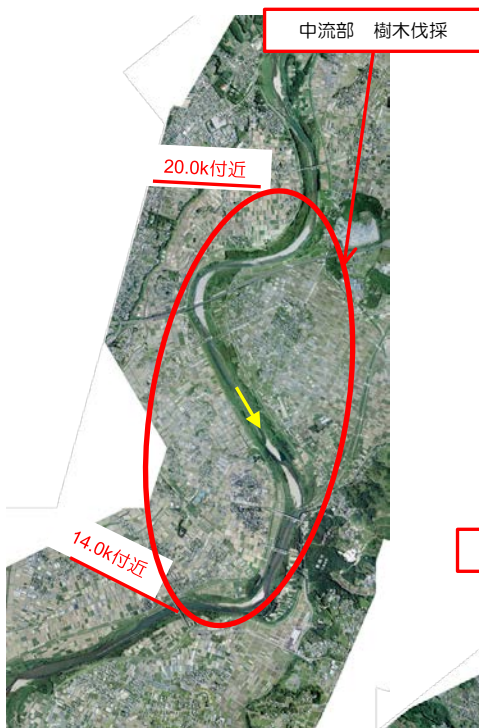
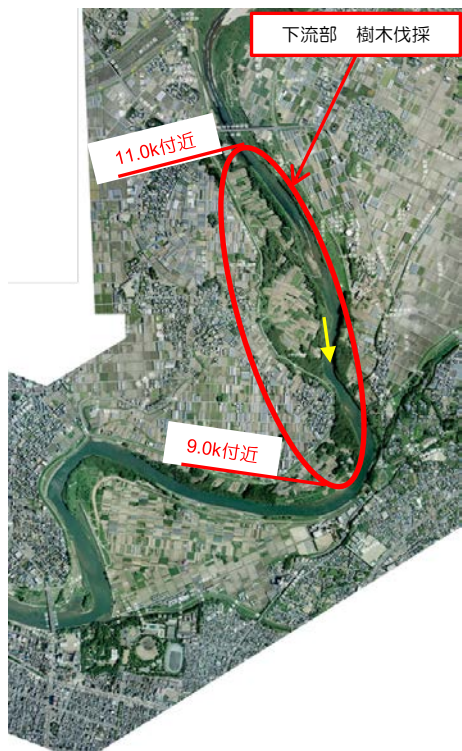
対策イメージ図

3) 豊橋市賀茂地区において裏法滑り対策として浸透対策（ドレーン工）を実施します。



対策イメージ図

4) 豊川全域にわたり、樹木繁茂により氾濫の恐れのある区間において樹木伐採を実施し、流下能力の回復を図ります。



対策イメージ図

2. 良好な河川環境の保全と創出

【環境】

(1) 豊川自然再生事業

豊川にはかつて広大な干潟がありました。昭和40年代からの開発行為により減少しました。

豊かな自然のある豊川、そしてより良い三河湾につなげるために、かつての干潟やヨシ原の再生に取り組んでいます。

自然再生計画に基づき施工した河口干潟とヨシ原のモニタリング調査やアサリ調査を実施します。



豊川流域圏自然再生検討会



アサリ調査のようす

1) 河口干潟の再生



施工した干潟に飛来する鳥類

2) ヨシ原の再生



ヨシ原の再生前 (H17.12)



再生したヨシ原 (H30.9)

3. 着実な維持管理 【維持管理】

(1) 治水機能を維持し、安心して快適な河川の利用を支える
日常的な維持管理を行っています。

◇堤防の健全性を点検

日常の河川パトロールだけでなく、堤防の除草を行い堤防の亀裂や法崩れ、漏水などの異常箇所を早期に発見するため堤防点検を実施します。



河川巡視の状況



堤防点検の状況

(2) 老朽化した河川管理施設の補修

◇事業の目的

豊川及び豊川放水路の機能を確保するため、老朽化した河川管理施設の補修等を実施します。



堤防天端の補修状況



石積みの補修状況

◇小坂井排水樋門

排水樋門の機能を確保するため、計画的に維持管理し、老朽化した樋門設備の長寿命化を実施します。



小坂井樋門



マイターゲートの状況

◇小坂井排水機場

内水排除の機能を確保するため、計画的に維持管理し、老朽化した除塵設備の長寿命化を実施します。



小坂井排水機場



除塵機の更新

(3) 流水の正常な機能維持と増進

◇寒狭川堰

寒狭川堰により不特定容量を確保するとともに、寒狭川導水路により、寒狭川堰下流及び宇連川の大野頭首工下流の流水の正常な機能の維持と増進を図っています。



寒狭川堰
(平成14年度 完成)

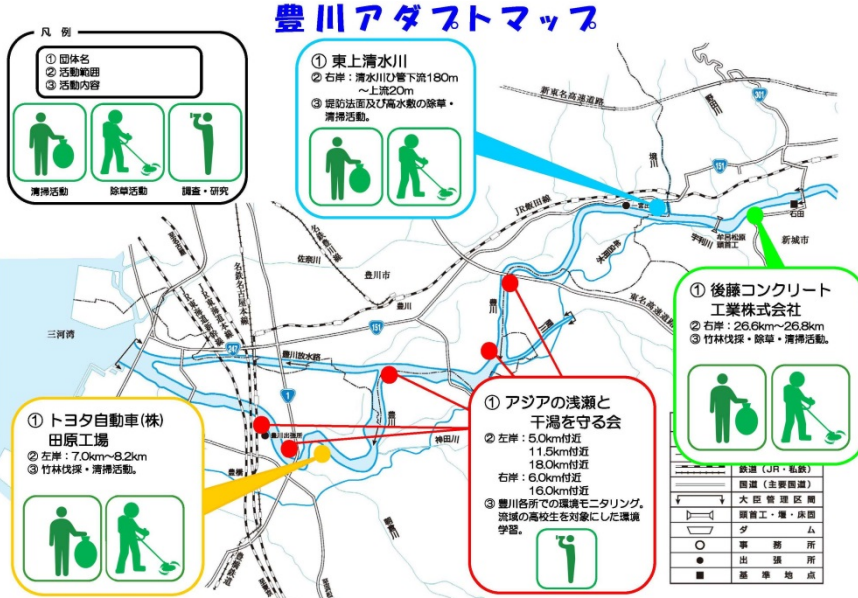
(4) 地域と協働した効率的な河川管理の推進

◇住民参加型の河川管理

豊川アダプトの登録団体をはじめ、流域の皆様や企業の協力体制のもと、河川敷のゴミ清掃や草刈などを実施しています。



豊川アダプト【トヨタ自動車 田原工場】による竹の伐採活動 (豊橋市牛川)



豊川アダプトの登録状況

◇流域内での資源循環

資源の有効利用の観点から、堤防除草で発生する刈草を堆肥などに活用する希望者を募り配布しています。

また、河川内樹木の伐木も希望の方に配布するとともに、希望者自ら樹木を伐採できる「公募伐採」にも取り組みます。



伐木の希望者への無料配付

◇出水期前の点検・訓練

河川の増水（出水）が集中する時期に入る前に、河川内に許可を受けて設置されている施設の現地点検を施設管理者と一緒にを行うとともに、河川内の公園については、増水時に流される恐れがある施設の撤去訓練を指導し、出水時の流域の安全の向上に努めます。



河川内公園のトイレ撤去搬出訓練

4. 災害・事故に対する危機管理体制の強化

【防災・減災、地域支援】

(1) 災害・事故に対する危機管理体制の強化

1) 洪水に対する危機管理

洪水時は、情報の収集、河川巡視などを行い、関係機関に情報提供を行います。

2) 水質事故に対する危機管理

豊川・矢作川水系水質汚濁対策連絡協議会の関係機関と連携し、被害の防止・軽減に努めます。



水質事故対策実技講習

3) 平常時からの備え

災害対策用車両を配備し、災害に備えます。

- ・排水ポンプ車 3台
- ・照明車 2台
- ・災害対策本部車 1台

普段からこれら車両の操作訓練等を実施し出動に備えています。

また、津波被害を軽減するため、河川の堤防に海拔情報を表示する

などの啓発活動にも取り組んでいます。



排水ポンプ車操作訓練

(2) 被災している地域への支援

大規模災害により被災した自治体に、職員や災害対策用車両を派遣し、活動を支援します。



平成30年7月豪雨被災地支援
(岡山県倉敷市真備町 平成30年7月)



湛水被害時における支援状況
(排水ポンプ車による排水活動 豊川市 善光寺川 平成27年9月)

5. 地域住民との交流及び地域との連携協力【地域交流・地域連携】

(1) 地域住民との交流

豊川の治水や河川環境について分かりやすく説明する出前講座や総合学習等への協力など地域交流に取り組んでいます。



豊川放水路分流堰の施設見学会(流域の小学校の社会見学にも対応します)



水生生物調査



水難事故防止の啓発活動



災害対策用機械(照明車)の操作体験



学校参観での出前講座

(2) 地域との連携・協力

豊橋創造大学と豊橋河川事務所は地域の持続的発展をめざし、緊密かつ組織的な連携・協力の推進・強化を図るために協定を締結しました。

豊橋河川事務所豊橋創造大学



豊橋創造大学
豊橋創造短期大学部

豊川

連携・協力項目

- 1) 教育・研究及び地域社会への貢献に関すること
- 2) 社会資本整備・維持に関すること
- 3) 防災知識の普及に関すること
- 4) 水辺利用の推進に関すること
- 5) その他、両者が必要と認める事項



パネル展示の様子



協定締結(平成30年11月)

CCTVカメラによる遠隔監視、リアルタイムで河川水位や雨量・水質等を常時監視しています。これらの画面や情報は、インターネットを通じて広く提供していますので、是非ご活用下さい。

＊豊橋河川事務所HP内「河川防災情報」をご覧ください。

<http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/kasen/>

国土交通省 中部地方整備局
豊橋河川事務所 河川防災情報

豊橋河川TOPページ > 河川防災情報TOPページ

中部地方整備局豊橋河川事務所が提供する豊川・矢作川の画像、水位、雨量をお送りします。
下記から局名を選択する方法を選んで下さい。



GoogleMAP選択



リスト選択

総務課
(0532)48-2111
経理課
(0532)48-8101
工務課
(0532)48-8103
調査課
(0532)48-8107
管理課
(0532)48-8105
占用調整課
(0532)48-8112

豊川出張所
〒440-0071 豊橋市北島町字北島364
TEL (0532) 52-8098
一宮出張所
〒441-1201 豊川市東上町松本254-2
TEL (0533) 93-2215
岡崎出張所
〒444-2136 岡崎市上里2-8-12
TEL (0564) 22-1564
安城出張所
〒444-1164 安城市藤井町南居林18-2
TEL (0566) 99-0402

※用地課はH27年度廃止され、総務課用地係となりました。
用地関係の連絡先は従来通り(0532)48-8102です。

国土交通省 中部地方整備局 豊橋河川事務所

〒441-8149 豊橋市中野町字平西1-6 TEL (0532) 48-2111 (代表) FAX (0532) 48-8100
<http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/> E-mail: cbr-toyohashi@mlit.go.jp

※H28.2.12よりメールアドレスが変更になりました。